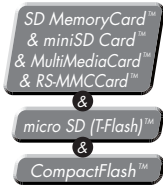


ADR-CML1BK
ADR-CML1W



USB2.0 カードリーダー

USB2.0 Card Reader

- USB2.0カードリーダー(ADR-CML1BK/W)1台
- 取扱説明書1冊



最初に
ご確認ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト (<http://www.sanwa.co.jp/>) をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- はじめに
- 動作環境
- 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)
 - 警告
 - 注意
 - お手入れについて
- 取扱い上のご注意
- 特長
- 各部名称と働き
- Windows
- 7.Windows Vistaへのインストール
- 8.Windows XP/2000(SP3以降)/Meへのインストール
 - 正しくセットアップできたか確認する
- 9.各種メディアの挿入
 - コンパクトフラッシュ・マイクロドライブの場合
 - SDHCメモリーカード・SDメモリーカード・Wii用SDメモリーカード・mini SDHCカード・miniSDカード・microSDHCカード・microSDカード・マルチメディアカード・MMC Plus・RS-MMCカード・RS-MMC 4.0・MMC microの場合
- 10.各種メディアの使い方
 - デジカメで撮影した画像を見る
- 11.各種メディアの取り出し
 - パソコンの電源が切れている場合
 - パソコンの電源が入っている場合
- 12.本製品の取り外し
 - Windows Vistaの場合
 - Windows XP/2000(SP3以降)/Meの場合
- Apple Macシリーズ
- 13.Mac OS10.4~10.5へのインストール
 - 正しくセットアップできたか確認する
- 14.メディアの挿入
- 15.メディアの取り出し
 - パソコンの電源が切れている場合
 - パソコンの電源が入っている場合
- 16.本製品の取り外し
- 17.仕様
- 18.よくある質問

1.はじめに

この度はUSB2.0カードリーダー(ADR-CML1BK/W)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくご覧ください。読み終わったあとこの取扱説明書は大切に保管してください。

2.動作環境

- 本製品はUSBポート(1つ以上)を搭載した次のパソコンに対応しています。
- 対応OS: Windows Vista・XP・2000(SP3以降)・Me・Mac OS X(10.4~10.5)
 - 対応機種: 各社DOS/パソコン、NEC PC98-NXシリーズ、Apple Mac Pro、Mac mini、MacBookシリーズ、iMac、Power Macシリーズ、PowerBookシリーズ、iBookシリーズ
- ※USBポート(Aコネクタ)を装備し、1つ以上の空きがあること。
※USB2.0機器として使用するためにはUSB2.0対応のホストアダプタか、USB2.0対応のポートを搭載した機器が必要です。
※Mac OSではUSB2.0対応のホストアダプタがUSB2.0対応のポートを搭載したOS(10.4以降)をインストールした機器が必要です。

3.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

- 警告
下記の事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。
- 分解、改造はしないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)※保証の対象外になります。
 - 水などの液体に濡らさないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)
 - 小さな子供のそばでは本製品の取り外しなどの作業をしないでください。(飲み込んだりする危険性があります)
- 注意
下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えたりすることがあります。
- 取り付け取り外しの時は慎重に作業をおこなってください。(機器の故障の原因となります)
 - 次のようなところで使用しないでください。
 - ①直接日光の当たる場所
 - ②湿気や水分のある場所
 - ③傾斜のある不安定な場所
 - ④静電気の発生するところ
 - ⑤通常の生活環境とは大きく異なる場所
 - 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

- お手入れについて
- ①清掃する時は電源を必ずお切りください。
 - ②機器は柔らかい布で拭いてください。
 - ③シンナー・ベンジン・ワックス等は使わないでください。

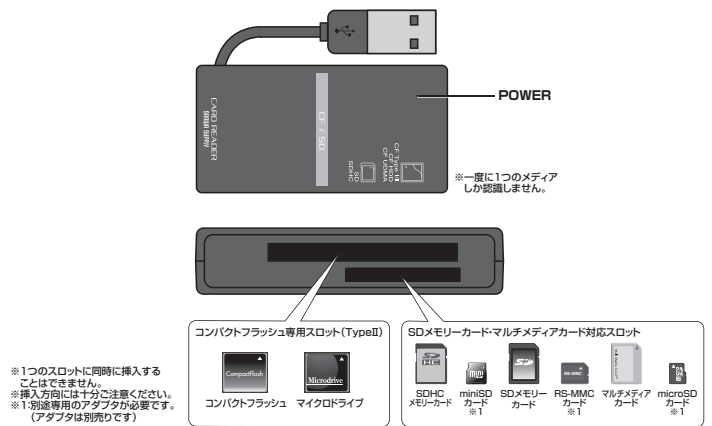
4.取扱い上のご注意

- 本製品の取り付け、取り外しをする時には必ずパソコン内(ハードディスク等)のデータをすべてバックアップ(MD、FD等)をしてください。
- メディア内のデータは、必ず他のメディア(MD、FD等)にすべてバックアップしてください。
- ※特に修復・再現のできない重要なデータは必ずバックアップをしてください。
- ※バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5.特長

- 接続ケーブル内蔵で、コネクタ収納ができるコンパクトなカードリーダー。
- SDHC Class10(32GB)・microSDHC Class6(16GB)・UDMAコンパクトフラッシュ(16GB)対応。
- USB2.0/1.1に対応したカードリーダー。
 - ※USB2.0機器として使用するためにはUSB2.0対応のホストアダプタか、USB2.0対応のポートを搭載した機器が必要です。
 - ※Mac OSではUSB2.0対応のホストアダプタか、USB2.0対応のポートを搭載したMac OS(10.4以降)をインストールした機器が必要です。
- Windows & Mac両対応。
- 対応OS: Windows Vista・XP・2000(SP3以降)・Me・Mac OS X(10.4~10.5)
- 対応機種: 各社DOS/パソコン、NEC PC98-NXシリーズ、Apple Mac Pro、Mac mini、MacBookシリーズ、iMac、Power Macシリーズ、PowerBookシリーズ、iBookシリーズ
- ※USBポートを装備し、1つ以上の空きがあること。

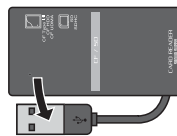
6.各部名称と働き



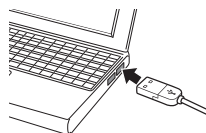
7.Windows Vistaへのインストール

Windows

- 本製品は、ドライバをインストールする必要がありません。
接続するだけで簡単に使えます。※Windows 98-98SEには対応していません。
- ①パソコンの電源を入れ、Windowsを起動させます。
 - ②本製品に内蔵の「接続ケーブル」をケースから取り出します。



- ③パソコンのUSBポートに本製品のUSBコネクタを接続します。

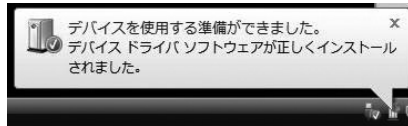
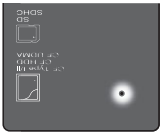


△ パソコンのUSBポートはメーカーによってコネクタの向きが違います。よく確認して接続してください。

7.Windows Vistaへのインストール(続き)

Windows

- ④USBコネクタを接続後、POWERランプが点灯し自動的にインストールが行われます。タスクトレイにインストール完了のメッセージが表示され、これでインストールは完了です。



正しくセットアップできたか確認する

デスクトップにある「マイコンピュータ」をダブルクリックして、「リムーバブルディスク」のアイコンが追加されていることを確認します。

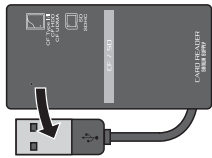
※アイコンは、一つしか出ません。



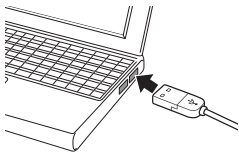
8.Windows XP/2000(SP3以降)/Meへのインストール

本製品は、ドライバをインストールする必要がありません。接続するだけで簡単に使えます。※Windows 98・98SEには対応していません。

- ①パソコンの電源を入れ、Windowsを起動させます。
- ②本製品に内蔵の「接続ケーブル」をケースから取り出します。



- ③パソコンのUSBポートに本製品のUSBコネクタを接続します。

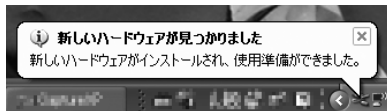


△ パソコンのUSBポートはメーカーによってコネクタの向きが違います。よく確認して接続してください。

Windows XPをご使用のお客様

ご使用のパソコンがUSB2.0に対応していない場合やサービスパック1以前の場合「高速ではないUSBハブに接続している高速USBデバイス」のメッセージがタスクトレイに表示されます。サービスパックの場合「さらに高速で実行できるデバイス」のメッセージがタスクトレイに表示されます。これは本製品がUSB2.0に対応している機器ですが、接続したUSBポートがUSB2.0に対応していないため表示されるメッセージです。この場合USB2.0ではなくUSB 1.1のスピードで動作します。

- ④USBコネクタを接続後、POWERランプが点灯し自動的にインストールが行われます。タスクトレイにインストール完了のメッセージが表示され、これでインストールは完了です。



正しくセットアップできたか確認する

デスクトップにある「マイコンピュータ」をダブルクリックして、「リムーバブルディスク」のアイコンが追加されていることを確認します。

※アイコンは、一つしか出ません。
※XPの場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」の場合があります。



リムーバブルディスクのドライブ番号について

Windowsパソコンではリムーバブルディスクのドライブ番号は順番に割り当てられます。本製品はわかりやすくするためにリムーバブルのアイコンが1つしか表示されません。2つ以上のメディアを同時に認識することはできません。

パソコン内のドライブがDで終わっている場合表示されるリムーバブルディスクアイコン
リムーバブルディスク(E)
詳細は 6.各部名称と働きをご覧ください。



9.各種メディアの挿入

各メディアは実物大の絵を載せています。確認後、挿入してください。



9.各種メディアの挿入(続き)

①コンパクトフラッシュ・マイクロドライブの場合

※同時に使用することはできません。

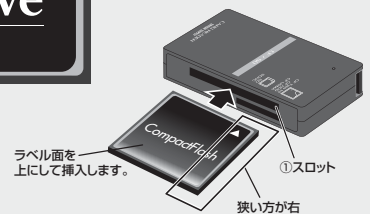
狭い 広い ラベル面が上 ※コンパクトフラッシュ TypeIとも呼ばれています。



狭い 広い ラベル面が上 ※コンパクトフラッシュ TypeIIとも呼ばれています。



△ 挿入方向には十分注意してください。コネクタピンを破壊する恐れがあります。



- ②SDHCメモリーカード・SDメモリーカード・Wii用SDメモリーカード・mini SDHCカード・miniSDカード・microSDHCカード・microSDカード・マルチメディアカード・MMC Plus・RS-MMCカード・RS-MMC 4.0・MMC microの場合
※同時に使用することはできません。

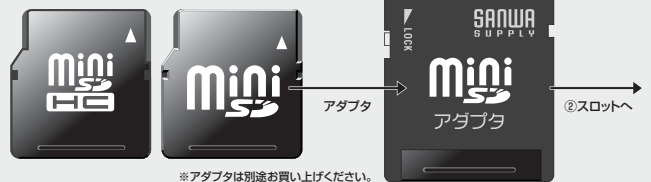
SDHCメモリーカード・SDメモリーカード・Wii用SDメモリーカードなど

(実物大)



mini SDHCカード・miniSDカード

(実物大) △直接挿入することはできません。



microSDHCカード・microSDカード

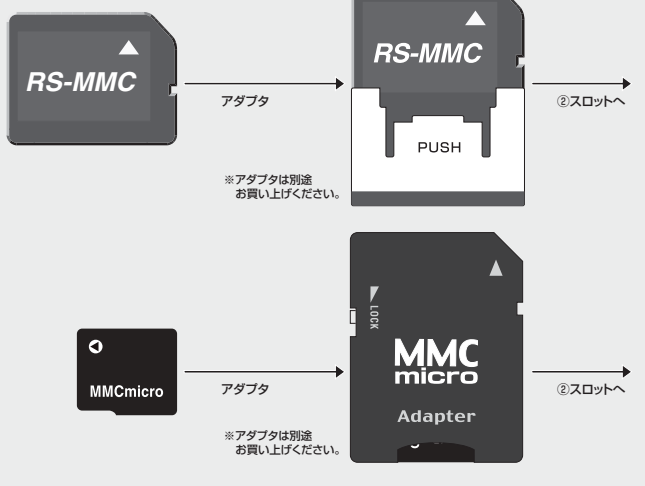
(実物大) △直接挿入することはできません。



9.各種メディアの挿入(続き)

MMC Plus-RS-MMCカード-RS-MMC 4.0-MMC microなど

(実物大) ▲直接挿入することはできません。



10.各種メディアの使い方

Windows

■デジカメで撮影した画像を見る

①カードリーダーにメディアを挿入します。

②マイコンピュータの中にあるリムーバブルディスクのアイコンをクリックします。

③リムーバブルディスクの中に「DCIM」というフォルダができています。これは「デジカメで撮影された画像が入っているフォルダ」として、どのデジカメでも共通です。

※一枚のメディアをフォーマットせず、色々なデジカメで使用すると「DCIM」フォルダの中にメーカー別のフォルダが作成されます。

※フォルダはメーカー機種によって異なります。

④「DCIM」フォルダをクリックすると、メーカー特有のフォルダができます。

⑤このフォルダの中に画像は入っています。パソコンに保存する場合はドラッグして希望のフォルダに移動してください。

注意

あくまでも一般的な使用方法であり、OS・デジカメメーカーによって異なる場合があります。
 携帯電話で撮影した画像は各携帯電話メーカーによって異なります。携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
 動画を再生する場合は、対応のコーデックが必要です。お持ちのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

11.各種メディアの取り出し

Windows

■パソコンの電源が切れている場合

パソコンの電源が切れている場合は、そのままメディアを取り出してください。

■パソコンの電源が入っている場合

●Windows Vistaの場合

①本製品に挿入されているメディア内のデータを使用しているアプリケーションをすべて終了します。
 ②「スタート」→「マイコンピュータ」をクリックします。

③「リムーバブルディスク」を右クリックして、表示されたメニューから「取り出し」をクリックします。

④メディアを取り出します。

注意

アクセス中に、本製品からメディアを取り出すと、データが破壊されたり、消失する恐れがあります。



11.各種メディアの取り出し(続き)

Windows

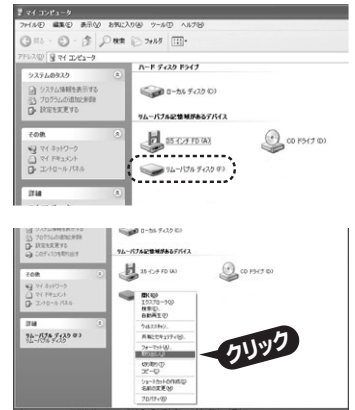
●Windows XP/2000(SP3以降)/Meの場合

①本製品に挿入されているメディア内のデータを使用しているアプリケーションをすべて終了します。
 ②「スタート」→「マイコンピュータ」をクリックします。

③「リムーバブルディスク」を右クリックして、表示されたメニューから「取り出し」をクリックします。
 ※画像はOSによって若干異なります。
 ④メディアを取り出します。

注意

アクセス中に、本製品からメディアを取り出すと、データが破壊されたり、消失する恐れがあります。



12.本製品の取り出し

Windows

本製品を使用しない場合や、スタンバイ/スリープモードになる場合には取り外していただくようお願いいたします。

注意

本製品を取り出す時には、本製品にアクセスしているアプリケーションをすべて終了してください。ファイルのコピー中など、アクセス中に本製品を取り出すと、データが壊れたり、消失する恐れがあります。

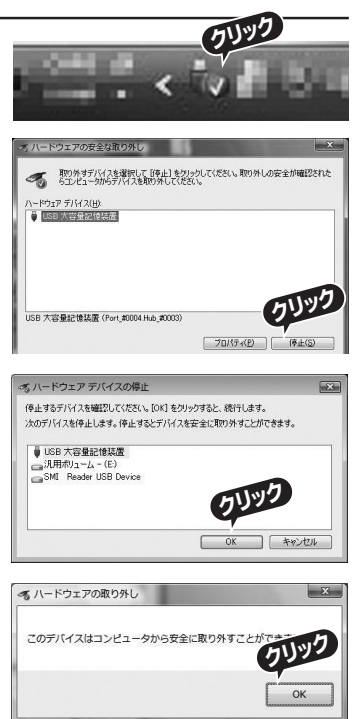
■Windows Vistaの場合

①タスクバーにある「ハードウェアの取り出し」アイコンをクリックします。

②「ハードウェアの安全な取り出し」が表示されますので、「USB大容量記憶装置」を選択し、「停止」をクリックします。

③「ハードウェアデバイスの停止」が表示されるので「OK」をクリックします。

④「ハードウェアの取り出し」が表示されていることを確認して「OK」をクリックして本製品をパソコンから取り出します。



■Windows XP/2000(SP3以降)/Meの場合

①タスクバーにある「PCカード」アイコンをダブルクリックします。

②「ハードウェアの安全な取り出し」が表示されますので、「USB大容量記憶装置デバイス」を選択し、「停止」をクリックします。

③「USB大容量記憶装置デバイス」が表示されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。

④「ハードウェアの取り出し」の吹き出しが表示されていることを確認して、USBケーブルをパソコンから取り出します。

※画像は、OSによって若干異なります。

●カードリーダーの取り外しが完了しない場合は 18.よくある質問 ⑤へ

